

# 境港市中期財政見通し

## 1. 推計の目的

境港市の財政を自立・持続可能な状態に保つために、中期的な見通しを作成し、**財政運営を考える指標のひとつ**としています。

また、定期的に(基本的には毎年度)必要な修正を加え、指標としての価値を失わないように心がけています。  
(ただし、あくまでも単純な推計値であって、財政運営の計画数値ではありません。)

## 2. 推計期間

平成20～24年度

## 3. 推計条件

会計区分：一般会計

推計基盤：**平成19年度当初予算**

主な推計の考え方は以下のとおりです。

### 歳入

市税	過去の伸び率から推計 個人市民税・・・H19予算と同額で据置 法人市民税・・・H19予算と同額で据置 土地・・・H20：-2%、H21：-1%、H22以降横ばい 家屋・・・H20：+4.5%、以降は評価替え年度-8%、その他年度+4.5% その他税・・・H19予算と同額で据置
譲与税・交付金	H19予算と同額で据置
地方交付税	普通交付税は、市税等の増減額を75%算入し、臨時財政対策債の減額分を25%加算 特別交付税は、H19予算と同額で据置
臨時財政対策債	毎年度：-25%（H20以降も制度は継続するものとする）
国・県支出金	基本的に据置とするが、一部歳出(扶助費等)に連動
市債	基本的に据置とするが、一部歳出(普通建設等)に連動
その他	H19予算額に繰越金相当として+1億5千万円

### 歳出

人件費	給与カット(市長20%、副市長・教育長15%、職員平均4%はH19単年度を予定) 職員純減、新陳代謝による削減分と定期昇給を見込む 退職金は、人数×27,000千円 退職者予定数(H19:2人、H20:18人、H21:15人、H22:9人、H23:10人)
扶助費	生活保護費・・・毎年2%増 社会福祉費・・・毎年1%増
公債費	既発行債の元利償還金に、今後発行予定の元利償還金を加算
普通建設事業費	H19予算と同額で据置とするが、特殊要因分を加味する
補助費	H19予算と同額で据置
繰出金	下水道特会・・・下水道事業計画による 老人保健特会・・・毎年度1%増 国保特会・・・H19予算額と同額で据置 介護保険特会・・・毎年度1%増 区画整理特会・・・特殊要因どおりとする 駐車場特会・・・使用料収入、市債償還額等を考慮して算定

### 特殊要因

義務教施設改修	毎年度2億円(国25%、市債75%)で試算
区画整理特会	保留地処分遅滞に伴う繰上充用金軽減のための繰入